

長崎県私立高校の入試選抜方法

長崎県内の私立高校の入試選抜方法は、ほとんどが「一般（一次・二次）入試」であり、ごく少数で「推薦入試」「専願入試」などが実施されています。私立高校の入試日程がほぼ同一日とならないため、複数の高校受験が可能となります。また、学校独自の選抜方法が多くあるため（特進クラスの資格が通知表の合計点で決定、特別入試を設け入試日程を増やすなど）、受験生には多くの受験機会があり、公立高校志望の生徒は万全の体制で入試を迎えることができます。

■ 一般入試選抜方法

一般入試は、ほとんどの学校で学力検査の結果と出身中学校から提出された書類をもとに選考されます。一般入試の調査書は参考程度とするところが大半ですが、特進コースなどでは重視される場合があります。また、出席日数や素行の項目については、コースに関わらず厳しく見られます。

長崎県のほとんどの私立高校（青雲高校を除く）は、一次試験と公立高校入試後の二次試験の日程があり、前述した通り、多く受験機会があります。選抜方法は、学校によって様々で、特色があります。入試問題の難易度は高く、しっかりとした学力を身につけておかねばなりません。また、大学進学のことを考えた場合、各学校が設置している「特進コース」や「奨学生対象クラス」など、各学校のトップクラスを受験することをお勧めします。

■ 推薦入試・専願入試選抜方法

「推薦入試」は各高校で決められたある一定の推薦基準を満たした受験生が、出身中学校長の推薦を受けて受験する方法であり、面接や作文、学科試験の結果と、中学校から提出された書類等をあわせて合格者を決定します。

「専願入試」は、その学校のみ志願していることを前提とし、「合格後、必ず入学する」という意志を明確にして受験する方法です。選抜方法は、学科試験の結果と中学校から提出された書類（調査書）等を総合して合格者を決定します。専願入試を採用する学校の多くは、学科試験を国・数・英の3科目で実施しています。

推薦・専願入試は各高校、また年度によっても実施が異なるため、しっかりと受験校の実施要領を確認しておくことが必要です。

■ 青雲高校入試概況

特別推薦入試と一般入試が実施され、青雲本校と福岡会場の2会場で試験が行われました。募集定員が「内部進学生を含む250名」へと変更されて以来、高校からの入学は狭き門となっています。試験科目の配点は、5科目均等の各100点ずつの合計500点満点です。内部進学生が多くいるため、合格を目指すだけでなく、入学後を見据えた高校学習内容の早期の取り組みが重要となっています。